

今回の表紙は **八幡西中学校**

各学年での宿泊研修



2年 若狭研修（いかだづくりに挑戦）



1年 郡上研修（ラフティング体験）

自然や文化を通じて、地域の良さや人の温かさを感じました。

集団行動では**規律・自分で考えること・責任**の大切さを学び、仲間のすばらしい姿にも気付きました。



3年 東京研修

『地域とつながる活動』では

地域の方や公民館に花をプレゼント



地域とつながる活動（那比秋祭りでの花の配布）

他にも、園児と一緒に苗の植え替えや小学生と花のお世話をしました。

今後も、地域とのつながりを
広げていきたいです！

目次

市長への政策提言	2
見直し事業の検証	4
12月定例会	6
一般質問〈郡上市の課題を問う〉	7
郡上市議会の活動・議長の動向	12

委員会活動報告	13
クイズの答え	15
令和7年度 議員としゃべろう	16
17名の議員が選んだことば	18
クイズコーナー・編集後記	20

令和8年度予算での実現に向けて

市議会が市長に政策提言



10月27日に市長に対し、全部で10項目の提言を行いました。各常任委員会が、行政評価をはじめ行政視察や各種団体との意見交換会などの活動を通して課題を検討し、その結果を反映させています。

例年12月に政策提言を行っていましたが、市の予算編成スケジュール等を鑑み、今年度は提言の中でも緊急性が高く、予算措置が必要な提言事項を抽出し、時期を早めて実施しました。

以下、政策提言の要約になります。

緊急提言(クマ出没・被害防止対策の強化について)

1 緊急対応体制の強化

改正鳥獣保護管理法により、市町村の判断で可能となった緊急銃猟について、市が警察や猟友会と連携し、現場確認・警戒・緊急銃猟の判断までを一元化する体制を整備するなど、迅速に実施できる体制を明確化すること。また、猟友会などの捕獲対応者の身分保障、駆除行動に係る安全対策や負担軽減の取組みを実施すること。

2 出没情報の共有

通報・初動対応のワンストップ化を図ることで、クマの目撃情報・被害報告を市民とリアルタイムで共有できる仕組みの構築を図ること。

3 児童・生徒の登下校時の安全確保対策

児童・生徒の保護者への迅速な情報提供や登下校時の安全確保を最優先とした対策を実施する。

総務常任委員会

1 ふるさと納税の充実・強化

本市のふるさと納税の目標金額を50億円と設定し、その実現に向けて、返礼品の1点集中・特化型ブランドینگ戦略や、デジタル技術の活用によるプロモーションなど、最大限財源確保に努められたい。

また、魅力的な返礼品や体験型商品開発など市内企業との連携を図り、他市との差別化を図った地域ブランドの発信に努め、他市の成功事例を検証、さらには職員のマーケティング能力を高めることで、総合的にふるさと納税増収のための取組みをされたい。

2 地域公共交通の見直し

利用客の無い路線は減便、廃止するとともに、オンデマンド化など乗客のニーズに即応できるシステムづくりを早急に検討され、市民が安心して暮らせる交通サービスを実現されたい。

3 関係人口の創出の取組み(行政評価結果からの提言)

関係人口創出に向けての事業展開において、まずは関係人口の定義を明確にするとともに、各種事業における具体的な数値目標を設定し、成果目標達成につながる事業効果を測定できるシステムを構築すること。

また、郡上人会あるいは郡上ファンの会を育成支援し、SNS・オンラインなどのデジタル戦略を強化し若者へのアプローチを行うこと。さらに居住地以外の地域に継続的に関わる人を自治体が登録する「ふるさと住民登録制度」や二地域居住を次期戦略として見据え、国の支援を最大限に活用すること。特に中京圏に力を入れ、観光だけに固執することなく、多様な事業を展開すること。



郡上を縁とするネットワークを広げる東京郡上人会交流会

産業建設常任委員会

1 次世代へつなぐ

農村地域社会の構築

現行の中山間地域等直接支払制度を例に、合意形成が比較的容易な単位程度の農業経営共同体から地域計画策定を進められたい。そして、先行地域の具体的な成果が上がった段階で順次拡大または組織統合により広域化されたい。

また、農村RMOの迅速・確実な推進のために、農村RMOを推進する地域に対して、新たな補助事業などを構築し、より一層の支援を行われたい。さらに、強固な支援体制の構築とともに、農村RMOについて専門的な知識を有する職員の育成に努められたい。

2 計画的な社会資本整備の

推進と財源の確保

広大な市域を適切に維持・管理していくためには、長期的かつ継続的な事業計画を策定することが不可欠である。また、その予算確保に向けて

は、国・県の補助事業や地方債の活用を最大限図り、事業を安定的に実施できる財政基盤の確保に努められたい。

3 空き店舗の活用

(行政評価結果からの提言)

空き家・空き店舗に関連する機関とのつながりを強化し、郡上市全域の空き店舗情報の収集・分析・共有を行い、空き店舗の情報を素早く、簡単に受発信できる体制づくりをされたい。

また、市内の空き店舗活用をさらに推進するため、補助金上限額の引き上げと市外や都市部の関係人口創出に向けた空き店舗等活用事業のPRに努められたい。

文教民生常任委員会

1 学校施設の

エアコン設備の充実

市内の小中学校では、理科室などの特別教室はまだ未整備も多く、体育館は全て未整備のため、子どもたちが安心して学習や活動に取組めるよう空調設備の早急な導入を進められたい。

また、学校体育館は避難所機能も持つため、計画的な空調整備を進め、持続可能な運用方法の検討や国の補助金活用、ふるさと寄附の項目に入れるなど財源確保にも努められたい。

2 歴史文化の保存活用と

伝統芸能の継承

本市には白山信仰、東氏文学、城下町八幡などに関わる文化財が多く存在し、保存と活用を一体的に進める必要がある。例えば、若宮家、篠脇城跡と東氏館跡庭園、郡上八幡城は、保存修復や史跡調査を一層推進し、文化観光の推進を図られたい。

また、郷土の歴史や芸能を子どもたちが直接体験・継承できる教育機会をさらに拡充されたい。あわせて、デジタル技術を活用し、国内外への魅力発信を進め、文化の継承と地域経済の活性化を両立されたい。

3 障がい者施策の制度化と推進

(行政評価結果からの提言)

障がいのある人が地域で自分らしい生活を営むことができる社会の実現を目指すため、例えば、障がい者との意思疎通を図るコミュニケーションボードの配置や店の出入り口の段差を解消するバリアフリー化など、商業者や地域団体が行う合理的配慮にかかる費用への助成制度を新設されたい。

さらに、相談や苦情に対応できる体制を整え、事業者団体や地域住民と協力して研修・啓発活動を進め、誰一人取り残されない地域共生社会の構築を進められたい。



政策提言について
詳しくは郡上市議会
公式HPへ

当初予算見直し事業の

検証

郡上市議会では令和7年度郡上市一般会計予算に対して、下記の通り

附帯決議^{*}を付し、

『市民の理解を得ながら慎重に事業を進めて欲しい』と要望を行いました。



令和7年度郡上市一般会計予算に対する附帯決議（令和7年3月に提出）

令和7年度一般会計予算案においては、「若者へのシフト」を掲げ、若者はもちろんのこと、誰もが元気に安心して幸せに暮らすことができる郡上の未来を目指し、社会情勢の変化などに合わせた事務事業の見直しにより、事業の廃止あるいは令和6年度から大幅な予算額の削減が行われている。

しかし、特に事業の廃止にあたり、市民への説明が不十分なため、理解が得られていないと見受けられ、事業を必要とする市民からは継続を求める声も聞かれる。それを受け郡上市議会としても、予算の削減を危惧する意見が多く出されている。

こうした状況から、下記事項に留意し取組まれるよう求める。

- 1 市民生活への影響を考慮し、市民への説明を十分に行い、理解を得ること。
- 2 予算の執行状況について、検証を行いながら適宜議会に報告し、必要に応じて見直しを検討されたい。

※附帯決議とは？
 主要な議案とは別に留意事項や課題性を示して、提案等を加える決議です。
 法的拘束力は持ちませんが、執行部や社会に対し、重要なメッセージを発するものです。

この附帯決議を踏まえ、9月26日に開催された議会全員協議会で、執行部から令和7年度当初予算見直し事業の検証結果について報告がありました。



その報告を経て

市民の声を適正に受け止めているのか？



事業の廃止・見直しに妥当性はあったのか？

などを議会として見直し事業の検証を行いました。

議論された49の見直し事業の一部を 各常任委員会ごとに紹介します。

市による見直し事業の報告

〈総務常任委員会〉ふれあい交流事業 ⇒ 事業廃止

見直し理由

出会いのサポートなどが民間でも盛んに行われていることから、市としての婚活支援事業は廃止し、県の結婚支援などを市HPで情報提供を行う。県内でお見合い・マッチング事業が多数開催されているので、出会いの機会については一定の確保ができていると考えられる。

市民の反応・反響

市民から婚活に関する新規相談は入っていない。

今後の対応

今後は県が新たに実施する婚活支援「移住婚」への協力など、現行の体制にて対応可能な範囲で、県域の結婚支援に参画する。

議会による見直し事業の検証

検証結果

事業廃止について異論はない。
市民からの問合せに対応する窓口機能の維持は必要である。

〈産業建設常任委員会〉農林水産物ブランド化向上事業 ⇒ 事業廃止

見直し理由

「郡上鮎」、「和良鮎」などのブランド力の向上について効果が得られたほか、農業振興としても農業生産団体等への支援により、ブランド力の向上、販路の拡大への取組みに対して、一定の効果が得られたと判断できる。

市民の反応・反響

意見や苦情要望はなく、見直しは一定の理解をされたと判断できる。

検証結果

事業廃止について異論はない。
しかし、郡上鮎やひるがの大根などは軌道に乗っているが、伸び悩んでいるほかの農林産物（米やさつまいもなど）については、今後も支援されたい。

〈文教民生常任委員会〉敬老会事業 ⇒ 事業廃止

見直し理由

コロナ禍を経て敬老訪問（商品券の配布等）の割合が78.9%となり形式化したため。また、主催者（自治会長等）から事業の意義について疑問の声があがっているため。

市民の反応・反響

名簿の課題はあるものの、補助金を廃止したことについては概ね了承されていると思われる。

今後の対応

名簿提供の可否について引き続き検討が必要である。

検証結果

対象者名簿について、自治会または公民館主体の活動を円滑にするため、行政と自治会、公民館間で個人情報の保護に関する誓約をかわし、情報提供を可とするよう検討されたい。

見直し事業の検証を終えて

急速な人口減少や社会情勢の変化の中、当初予算では多くの事業見直しが行われ、選択と集中による予算編成はやむを得ないと感じています。

こうした状況を踏まえ、議会は当初予算・一般会計全体に附帯決議を付し、執行部に慎重な検証と見直しを求めました。

見直し対象となった49事業について、各常任委員会で検証を行い、一定の妥当性は認めましたが、今後も市民生活への影響を考慮して、継続的な検証と十分な説明を求めています。

12月定例会

人事案件

(全会一致)

●農業委員会委員の任命同意

任期 令和8年3月～令和11年2月の3年間 19名

令和7年度一般会計補正予算

主なもの

●庁舎等整備事業

組織機構改革に係る補正

6億2327万円増額
(全会一致)

2236万円増額

●ふるさと寄附啓発事業

ふるさと納税の増見込に係る返礼品代、事務手数料及び企業版ふるさと納税のマッチング成果報酬に係る補正
1267万円増額

●児童扶養手当給付事業

国による所得制限額及び支給単価の引上げに係る補正
1030万円増額

△国の経済対策▽

●郡上市共通商品券配布事業

(重点支援地方交付金)

定例会

一般質問

委員会活動報告

クイズの答え・声

議員としやべろっ

配布額 1世帯あたり2万円分の商品券

対象者 郡上市に住民票を有する全世帯

3億2100万円増額

●物価高対応子育て応援手当支給事業

給付額 子ども1人あたり2万円
対象者 児童手当支給対象児童を養育する父母など(R8・3・31までに生まれる新生児含む)

1億1029万円増額

条例関係

12件

主なもの

●行政組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例 (賛成多数)

多様な行政ニーズへの対応、人口や職員数に見合った業務執行体制の確立などを目指し、令和8年4月より組織機構の一部を改編する

※詳細は広報郡上2月号に掲載

●郡上市火災予防条例の一部を改正する条例 (全会一致)

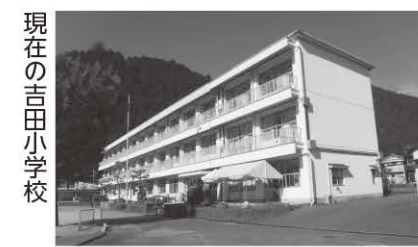
火災とまぎらわしい煙などを発するおそれのある行為などの届出に「たき火」が含まれることなどを明記

●郡上市立学校設置条例の一部を改正する条例 (全会一致)

美並地域の三城小学校、吉田小学校2校を統合し、「美並小学校」として新設する

(全会一致)

現在の三城小学校



現在の吉田小学校

指定管理者の指定

3件

(全会一致)

※順に指定管理施設、指定管理団体

●白鳥農畜産物処理加工施設及び郡上市白鳥ふれあいの館

(株)しろとり

●白山長滝公園ほか3施設

(株)しろとり

●郡上市総合スポーツセンター

ドルフィン(株)郡上支店

*以上3件の指定の期間は 令和8年4月～令和13年3月(5年間)

財産の貸付・譲渡

3件

(全会一致)

●旧美並庁舎跡地の無償貸付

建物の取り壊し費用は事業者で負担し、当該地に店舗を出店するという条件で、土地を無償貸付する

貸付先 ゲンキー(株)

貸付期間 令和7年11月～令和37年10月

●旧白鳥前谷自然活用総合管理施設の無償貸付

修繕費用を借受人が負担し、市の財政的な負担が生じないことで無償での貸し付けとする

貸付先 (株)AOPランニング

&デザイン

貸付期間 令和7年12月～令和17年3月

和良の郷総合開発(株)

●和良農産物加工施設の無償譲渡

施設の効率活用を図るため、地域経営組織が運営する民間事業者へ無償譲渡する

譲渡先 和良の郷総合開発(株)

請願

(賛成少数で不採択)

●「国に対し地域医療を守り医療機関の維持存続への支援を求める意見書提出の請願」

一般質問

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に、質問を行い見解などを求めることです。12月定例会の一般質問に13名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※下記の表中、☒ がある内容を掲載しています。全ての質問は次ページからの各議員欄にある二次元コードから Youtube にてご覧いただけます。



郡上市議会の
YouTube

一般質問一覧

	議員名	質問事項
1	清水 敏夫	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人口減少下、郡上市の婚活推進策は <input type="checkbox"/> 2. 郡上版シビックプライドで持続可能性市に
2	長岡 文男	<input checked="" type="checkbox"/> 1. ぎふ木遊館サテライト施設の整備について <input type="checkbox"/> 2. 道の駅への支援と連携について <input checked="" type="checkbox"/> 3. 生活保護制度の現状について <input checked="" type="checkbox"/> 4. クマの出没による対策について
3	野田 かつひこ	<input type="checkbox"/> 1. 「郡上鮎」の現状と将来は <input checked="" type="checkbox"/> 2. 健康保険証の現状と今後の方向性は
4	蓑島 正人	<input type="checkbox"/> 1. 地域林業の持続的発展と成長産業化のために <input checked="" type="checkbox"/> 2. 副市長二人体制で得られた利点は <input type="checkbox"/> 3. 高鷲北部へのランドマークホテルの誘致
5	田中 義久	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 寄附を受領した土地建物について <input checked="" type="checkbox"/> 2. 高市内閣の経済対策について <input checked="" type="checkbox"/> 3. ケーブルテレビ民間移行方針について

	議員名	質問事項
6	みずの まり	<input checked="" type="checkbox"/> 1. ミチトキテンについて <input type="checkbox"/> 2. クマについて <input type="checkbox"/> 3. 猟友会事務局について
7	大坪 隆成	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 放課後等デイサービスの提供体制について <input checked="" type="checkbox"/> 2. 重層的支援体制整備事業と庁内体制の強化
8	北山 浩樹	<input checked="" type="checkbox"/> 1. クマ対策の構造問題と抜本転換、緊急措置
9	原 喜与美	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人口減少問題の対策室の設置を <input type="checkbox"/> 2. Gクレジットの活用強化対策
10	田代 まさよ	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 企業におけるワークライフバランスの取り組み <input checked="" type="checkbox"/> 2. 大雪による市の対応について
11	本田 教治	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 高速バス郡上八幡インターについて <input checked="" type="checkbox"/> 2. マリアージュ郡上・婚活イベントについて
12	有井 弥生	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 市内産業の人材不足への対応等について
13	池戸 郁夫	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 郡上市の借地について <input checked="" type="checkbox"/> 2. 通学定期について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。



清水 敏夫 議員

人口減少下、郡上市の 婚活推進策は

結婚相談は民間に委ね、市は結婚しやすい環境を整える



近年の成婚数と未婚者の現状は

河合市長公室長 婚姻届出件数は令和5年87件、令和6年61件、令和7年11月末現在46件で年々減少の傾向。また、男性は50代の約5人に1人が未婚である。(表1参照)

(表1) 年代別・男女別未婚者の状況 (20代～50代)

		総数	男	女
20代	人 □	2,133	1,186	947
	未婚者数	1,675	996	679
	未婚率	78.5%	84.0%	71.7%
30代	人 □	3,442	1,785	1,657
	未婚者数	1,108	738	370
	未婚率	32.2%	41.3%	22.3%
40代	人 □	4,652	2,397	2,255
	未婚者数	891	619	272
	未婚率	19.2%	25.8%	12.1%
50代	人 □	5,130	2,558	2,572
	未婚者数	711	502	209
	未婚率	13.9%	19.6%	8.1%
合計	人 □	15,357	7,926	7,431
	未婚者数	4,385	2,855	1,530
	未婚率	28.6%	36.0%	20.6%

(令和2年度国勢調査)

市の新たな婚活支援策は

山川市長 20代から50代までの未婚率は28.6%。結婚を希望しないのには、経済的な要因があげられる。経済的な安定が結婚条件の一つである。

出会いの機会や結婚に対する価値観が多様化している中、結婚相談は民間に委ねていく。市としては、単身高齢者への支援を含めて、地域の安心感と生活の質の向上に努め、結婚を望む人が、望む形で選択肢を持てるまちづくりを目指す。



長岡 文男 議員

「森に帰ったクジラ」模型の 展示効果は

絵本のイメージを採用し
施設のシンボルとする



長尾教育次長 ぎふ木遊館サテライト施設の広い空間をダイナミックに活用し、メインテーマである自然の連鎖などを表現する展示として一連の流れの中でザトウクジラの模型を利用する。展示に係る経費については、内装工事の中に含まれている。



「森に帰ったクジラ」表紙

他市でプライバシーの侵害が問題となったが

田口健康福祉部長 本市では、相談や申請の受付において、個室やパーテーションで仕切られたスペースを利用している。手持ち金の確認は本人の自己申告とし受給決定後も、定期的なケースワーカーの訪問などにより適正な支援に努めている。

クマ出没への対応について

伊藤農林水産部付部長 緊急銃猟は、一定条件を満たした時に実施できるが、日常生活圏での発砲は人の身体に危険が及ぶ恐れがあることから、まずは追い払いで対応する。



野田 かつひこ 議員

健康保険証の現状と 今後の方向性は

マイナ保険証の利用は
全国平均を上回っている



田口健康福祉部長 市の国民健康保険マイナ保険証登録率は76%、利用率は72%(R7年8月末時点)。後期高齢者医療制度では登録率75%、利用率43%(R7年7月末時点)である。登録率、利用率いずれも国保、後期高齢ともに全国平均を上回っている。

9種類あると言われる受診の方法はどのような

健康福祉部長

医療機関を受診する場合の資格確認は、マイナ保険証利用の場合と、資格確認証の使用の場合に分けられる。

(表1参照)

保険証の種類	受付(本人確認)の方法	
マイナ保険証の場合	①顔認証または暗証番号	災害・停電などで受付がない場合
	②顔認証のみ	
	③暗証番号のみ	
	④スマートフォン	
マイナ保険証以外の場合	⑤資格確認証	窓口提示
	⑥従来の保険証	窓口提示(R8年3月まで)

(表1) 医療機関等での資格確認方法一覧



山川市長 合併から20年が経過した。これまでに総合計画や公共施設適正配置計画等が策定されたが、「計画あれど、進まず」の状態であった。今の社会に合った事業を行うためには、合わない事業を閉じなければならない。これには、市長の指示を正確に把握し、職員に周知・指導するとともに、スピード感を持って新たな事業に取り組む必要がある。こうした役割を果たすために、副市長2人とした。

副市長二人体制によって
得られた利点は

二人体制は良く機能して
おり十分な働きである



山川市長 物価高騰対策の他、中小企業や農林水産業の振興、医療や介護の支援、また学校についても検討している。詳細に関しては今後の政府発表を待つ状況であるため、現段階では補正予算に反映させることはできていない。

商品券による市民生活支援や
郡上市の活性化対策は

食料品の物価高騰に対す
る支援は前倒しで進める



山川市長 東海北陸自動車道と中部縦貫自動車道の結節を見据え、地域産業の活性化、交流人口の拡大を創出することが本事業の目的だ。

新事業「ミチトキテン」の
成功と今後の展望について

現代版青年団が
市の新たな成長につながる



山川市長 合併から20年が経過した。これまでに総合計画や公共施設適正配置計画等が策定されたが、「計画あれど、進まず」の状態であった。今の社会に合った事業を行うためには、合わない事業を閉じなければならない。これには、市長の指示を正確に把握し、職員に周知・指導するとともに、スピード感を持って新たな事業に取り組む必要がある。こうした役割を果たすために、副市長2人とした。

この1年半で、大型事業の見直しで100億円以上の将来負担を圧縮した。新しい事業を速やかに展開していくためには、これまでの1人体制では成し遂げられなかったと考えている。中央省庁への要望など、市長の上京が増え、内政を担う副市長2人がよく機能し、十分な働きであったと評価している。合併の意味をしっかりと考え、山積みの先送り課題を解決していくことに注力したい。



国の経済対策により郡上市はどんな事業を行うか

山川市長 ケーブルテレビ民間移行の基本的な考え方は郡上CATVとINGの市内の2つのケーブルテレビ事業者の提携は進むか、また「みんなであらまいか 郡上の元気やる気条例」に基づき、地元産業を維持発展させることができるか

置田副市長 市内の事業者間で番組の相互乗り入れや協力体制を維持・発展させると共に、条例の趣旨は、しっかりと具現化していく。

大垣共立銀行旧八幡支店の活用は
ご寄附いただいた土地建物を
どのように生かすのか

市長 民間企業による整備、運営も考えて、来年度には実施方針を固めていきたい。

針を固めていきたい。



大垣共立銀行
旧八幡支店

山川市長 東海北陸自動車道と中部縦貫自動車道の結節を見据え、地域産業の活性化、交流人口の拡大を創出することが本事業の目的だ。「これからの郡上市を作っていくのは誰が主役か？」という視点から、本事業を若者たちに託すことにした。

かつては「青年団」がまちの発展に欠かすことのできない組織だったが、時代の変化によりこうした地域組織は姿を消していった。

ところが近年、各地域で若者を中心とする組織が再び立ち上がり、注目を集め始めた。これが市の新たな成長につながると信じている。この若者組織が「現代版青年団」となり、市が若い世代により切り拓かれていくことが私の望むところだ。市としても次回開催に向けて、若者たちの成長を後押しし、見守りたい。



ミチトキテン
公式Instagram



放課後等デイサービスの提供体制について

希望どおりの受け入れについては困難な状況

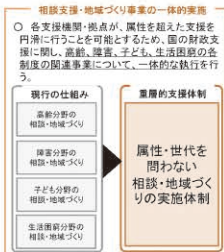


田口健康福祉部長 指導員と指導室の確保が難しく、現状においてはニーズに合わせたサービスの提供は困難な状況があり、長期休業時以外で利用される児童に対しては、月2回までの利用をお願いしている。

直営事業所の強化を図りたいが、すべてのニーズに行政だけで対応することは非常に困難。療育支援が必要な方への適切な支援のためには、民間事業所、市民団体などあらゆる地域資源の協力による児童の居場所づくり、支え手づくりも重要である。

重層的支援体制整備事業庁内体制の強化は

健康福祉部長 支援担当職員の負担軽減を図ることとで、相談者・対象者に対する適切な支援を可能とし、対象者の利益にもつなげることを目指す。令和8年度からは健康福祉部各課が2階フロアに集約することにより相互連携を取りやすくなることにも期待している。



厚生労働省HPより



クマ対策としてバッファゾーンを整備できないか

地域が責任をもって維持管理するならば、検討する



バッファゾーン（緩衝帯）の整備に対する考えは

伊藤農林水産部付部長 森と人里との間に、バッファゾーンを整備することは、鳥獣害対策の一つとして有効だと認識している。しかし、継続的に刈払いなど維持管理をしないと藪となり、かえって野生生物の棲家になる恐れがあることから、現時点ではバッファゾーンの整備の支援は考えていない。しかし、市民一人ひとりが「自分たちのこと」、「当事者である」との認識をもち、責任をもって維持管理していくのであれば検討したい。

クマの計画捕獲の検討及び県への働きかけの強化は

農林水産部付部長 クマを計画的に捕獲するため、目撃件数の多い10月に限り、クマを有害鳥獣捕獲の対象とすることを検討する。

また、狩猟者の負担軽減のため国や県へ財政的支援を働きかけていきたい。



熊出没注意



人口減少に対応する対策室の設置を望むが

組織機構改革で企画政策課を設け、主導的に担う



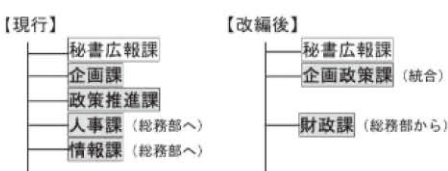
人口減少がもたらす課題は多種多様なため人口減少に特化した対策室を設置し、全庁体制で情報を共有して取組みたい

置田副市長 人口減少の影響は産業や福祉、教育など行政のあらゆる分野に波及している。

新年度に計画している組織機構改革では、新たに市長公室内に企画政策課を設置し、人口減少対策の司令塔として主導的な役割を担わせる。

また、事業の性質や緊急度に応じて関係部署の職員による分野横断的な「プロジェクトチーム」を機動的に編成することで、縦割りの弊害を排し、迅速かつ柔軟に施策を立案・実行できる体制を構築する。

加えて、行政だけでは限界があることから、市民の皆さんや地域団体の方々と交え、市役所全体が「丸」となって「オール郡上」で協働して、この難局に立ち向かっていく。



組織機構改革後の新しい市長公室



田代まさよ 議員

企業におけるワークライフバランスの位置づけは

市内定着を促す社会的に
重要で大切な要素である



人を呼び込むには、働きやすさが武器になると
いうことを知ってもらうことも大切。地元の企業
がワークライフバランスを取り入れてもらえる取
組みは

粥川商工観光部長 エクセレント企業として認定
されると、求職者に対してホワイト企業であるこ
とがPRできる。さらに周知などを強化し、個別
相談や指導など、認定取得に向けた支援を行う予
定である。本年7月には、郡上市産業支援センタ
ーによるセミナーを行っている。

選ばれる企業となるためにもエクセレント企業
の認定に向けた取り組みは、若者の意思決定を左右
する大切な要素である。重要な施策として取組ん
でいきたい。

大雪による市の対応は

屋根の雪下ろしは

田口健康福祉部長 「屋根の雪下ろしや雪除けの
依頼ができる事業者のリスト」
を利用してニーズに応じて、利
用者へつなぐを行っている。



屋根の雪下ろし



本田 教治 議員

不便な高速バス郡上八幡イン
ターバス停の設置変更は

よほどの利用客が見込め
ない限り困難である



河合市長公室長 交通事業者の判断になるが、速
達性が求められる高速バスであるため、今よりも
時間を要するルー
トへの変更は困難
であり、これまで
の交通事業者との
やり取りでも否定
的な見解である。



高速バス八幡インター入口

人口増加への支援策について

「マリアージュ郡上」事業廃止に代わる、若者主
体団体への支援は

山川市長 若者を主体とする団体の育成は、これ
からの郡上を若者に託していくために不可欠であ
る。20・30代の若者に活躍の場を多く提供してい
くことで、「郡上は活躍の場を与えてもらえるん
だ」と思っていたとき、これを広く発信すれば、
人、若者が集まり、そして出会いの場も増えるの
ではないかと考える。また、社会での活躍の場を
世代間で調整することで人口増につながる画期的
な動きになる可能性があると考えている。



有井 弥生 議員

市内産業の人材不足への
対応などは

お仕事マルシェを活用し
柔軟な働き方支援を推進



短時間・柔軟な働き方を支え、市内外の人材と
企業をつなぐ仕組みである「郡上お仕事マルシェ」
の今後の展開は

粥川商工観光部長 「郡上お仕事マルシェ」は、市
内外から利用があり、市外からのアクセスは全体
の約4分の1を占めている。すでに市外在住者か
らの応募もあり、移住希望
者や短期就労希望者の就職
支援ツールとしても機能し
始めている。今後は、観光
関連サイトとの連携や関係
機関と協力し、企業と人材
の接点を増やすことで、人
材不足対策に取組んでいく。

市職員の地域貢献型副業の活用可能性は

山川市長 本務に支障がないことを前提に、自発
的な意思に基づく活動として認めている。地域フ
ラブ活動や公共交通など、担い手不足解消に資す
る地域貢献型副業については、一定の制限を設け
た上で可能な範囲で認めていく考えである。

郡上で仕事を探そう！

求人検索サイト
郡上お仕事マルシェ

無料

郡上お仕事マルシェは
短時間・短期間/専門人材
専用求人サイトです

郡上お仕事マルシェ
(市産業支援センター)



池戸 郁夫 議員

市が借地としている
土地、建物の今後のあり方は

ガイドラインに基づき
活用方法を検討する



郡上市公共施設等総合管理計画の計画期間前期

10年があと3年で迎えるがその対応は

河合市長公室長 本年11月末まで、42施設、14500㎡の削減効果を見込んでいる。建物を取り壊すにも多額の費用を要するため、大規模な建物もあり、面積の大幅な削減は困難。

加藤総務部長 跡施設などのうち、継続使用しない施設は原則解体・撤去し跡地の活用を検討する。使用可能な施設は、他の行政目的への転用、公共的利用、民間事業者による活用の順に費用対効果を踏まえ検討し、有効な活用がない場合は除去、原則公売により処分する。

路線バスと長良川鉄道の共通定期については

市長公室長 9月末までの

連絡定期券利用者は111人、共通定期利用者はなし。

長尾教育次長 今後は、定期券の購入についての周知

方法について、校長会を通じて検討していきたい。



現在の長良川鉄道

郡上市議会の活動

大野市議会・郡上市議会 交流事業

令和7年11月12日、本市と友好交流協定を結んでいる大野市議会との意見交換会を行いました。

意見交換会では、「中部縦貫自動車道の開通を見据えた両市の交流と地域活性化などについて」というテーマに沿って、①開通による地域への人の流れ、ビジネス機会の創出、②中部縦貫道を活用した観光周遊ルートや観光資源の連携、③特産品の相互流通の拡大の3つの項目について、グループに分かれて活発な意見の交換を行いました。



郡上八幡まちなみ交流館での意見交換会の様子

中濃十市議会議長会 議員研修会

令和7年11月10日、羽島市の不二羽島文化センターのぎくホールで中濃十市議会議長会議員研修会が行われました。

中濃地区10市の市議会が、市政に関する調査研究や相互の親睦を図ることを目的としており、今年度は(株)第一生命経済研究所の西野偉彦氏による「主権者教育と地方議会」の講演を聴講しました。



西野偉彦氏による講演の様子

議長の動向



林総務大臣へ同会会長の濱田高知県知事を
はじめ役員と共に要望書を提出
左端：森藤議長

全国過疎地域連盟総会 及び 要請活動

森藤文男議長は令和6年6月から令和8年6月までの2年間、全国市議会議長会の代表として(一社)全国過疎地域連盟の副会長に就任しており、令和7年11月17日には第60回総会に出席しました。

総会では、過疎市町村の財政基盤の確立や地方創生と人口減少の克服などを盛り込んだ、令和8年度過疎対策関係政府予算・施策に関する決議・要望について協議するとともに、総会終了後には総務省や衆議院及び参議院議員会館への要請活動を行いました。

総務常任委員会

市内公共交通利用者調査

市内の公共交通としては、長良川鉄道、路線バス・自主運行バス及び乗り合いタクシーなどが運行しているが、集落が点在化しているという地理的特性や人口減少の影響もあり公共交通の利用者は減少している。

高齢者などの交通弱者の日常生活の移動手段を確保していくことは、安心して住み続けられるまちづくりの重要な課題である。

総務常任委員会では、9月17日から30日の期間に、市内7つのバス路線（美並北ルート、気良線、栗巣・古道線、鷺見線、小駄良線、白鳥デマンドバス六ノ里ルート）において、各委員が実際に乗車し、利用者の方々の運転手の方のご意見の聞き取りや乗り合い状況の調査を行った。

乗車した路線においては、乗客がない時間帯もあり、運転手の方にお話をお聞きすると時間帯によって乗車される方はほぼ固定しているとのこと、無駄な運行を省いた効率的な運用の必要性を感じた。

また、地域で利用される乗客の方の状況も毎年のように変化しており、

単なるダイヤ改正やルート変更ではニーズに答えられない現状がある。今回の調査を踏まえて、路線バス・自主運行バスなどの今後の運行システムについて、オンデマンドバスの導入など、市に対して新年度に向けての提言を行った。（P2政策提言のページ参照）



郡上市自主運行バス 小駄良線

産業建設常任委員会

郡上建設業協会との意見交換会

産業建設常任委員会では12月15日に郡上建設業協会との意見交換会を開催した。

始めに、建設業協会からあらかじめ提出があった要望事項や個別事項などについて、委員がそれぞれに回答を行った。

次に、各地域の役員から地元の課題などの説明を受けた。

広域ネットワークの整備が完成し、共用開始され、経済的な効果が大きいに見込まれるため、それまでに市内の道路整備・舗装改修や林道整備が

必要と感じた。

市民の生活に欠かせないライフラインである上下水道は、老朽化が進んでおり、災害時に断水や漏水をすることが高いため、計画的な改修工事が必要とのことだった。

降雪が少ない地域の受託業者は除雪機械の維持費が重荷になることやオペレーター不足などにより作業の継続が困難な状況であるため、さらなる支援策が必要だと感じた。

また、農地保全と生産性向上を図るため、大型機械化に対応できる農業農村整備の促進の必要性など様々な課題があった。

市内の出生数が減少していく中、次の世代のために、先を見据えた道路整備やインフラ整備、農林道整備などを計画的に進めることが重要と感じた。



郡上建設業協会との意見交換会の様子



市内で行われた水道の耐震管工事の様子

委員会活動報告

文教民生常任委員会

郡上偕楽園・アットホームしりとりに施設見学

文教民生常任委員会では、9月19日に郡上偕楽園および介護老人保健施設アットホームしりとりに訪問した。

各施設では、施設の概要や提供している介護サービスの内容、利用者の状況などについて説明を受け、実際に施設内の見学を行った。

また郡上偕楽園では、今後予定されている施設移転に向けた準備状況についての説明を受けた。

郡上市シルバー人材センターとの意見交換会

10月16日には、郡上市シルバー人材センターと意見交換会を行い、高齢者の就労状況や会員数の推移、受注の現状、今後の事業展開や人材確保の課題について協議した。

委員会として、教育・福祉・就労が連動した持続可能な地域づくりに向け、引き続き調査研究を進めていきたい。

中学校での給食試食及び懇談会

八幡中学校にて学校給食の試食視察を行った。この春から中学校給食費が無償化された事を受け、実際に提供されている給食を試食した。

試食では栄養士の方から、地元食料を積極的に取り入れる「郡上の大地を味わう」など郷土の恵みを感じてもらおう工夫に加え、食物アレルギーへの細やかな対応、近年の食料価格高騰の中でも栄養価や質を維持するための努力などについて説明を受けた。

◀試食した給食



八幡中学校での給食試食及び懇談会の様子

市議会PR動画

ショート動画に取り組む議員たち

郡上市議会では、今年度から定例会の告知動画を自主製作し、ケーブルテレビ、SNSを通じてオンエアしています

一般質問のようにはいかない…

市民の皆様には市議会の事や議員の活動をもっと知ってほしい。そんな思いから、市議会では定例会のPR動画を議員自ら作ることにしました。

台本、監督、出演、スタッフ、撮影と本当になにもかも手作り！話す事が得意な議員たちですが、ショート動画の出演となるとタジタジ？ 毎回リテイクの連続です。

そのかいあってか、反響はまずまずのようです。これからも開かれた議会を目指してがんばります！

これからもシリーズは続くから期待してね！
動画はケーブルテレビ、SNSでご覧頂けます
詳しくは議会事務局まで！



田代まさよ議員



みずのまり議員

本田智治議員

野田かつひこ議員

山田智志議員

和田樹典議員

クイズの答え 《 第86号出題 》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は135件でした。
いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

**正解は 問1 ③約311億円 問2 ②じゃんけん大会
問3 ①軽油引取税**

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。
なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの

声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想の中から、一部を要約して紹介します。

●クイズがあることでよりしつかり読むようになりました。

白鳥 7歳

●議会の様子や議員の声を分かりやすくまとめてくださりありがとうございます。内容のブラッシュアップを継続して、ひとりでも多くの方に市政への関心を持っていただくように頑張ってください！

八幡 31歳

●「こども議場見学会」が開催されたとのこと。こどもの頃から、自分の住んでいるまちの仕組みや役割について関心を持つことはとても良いことだと思う。
美並 78歳

●どんな取り組みをしているのか分かりやすく発信してくれているのでありがたいです。
大和 35歳

●こども議場見学会に参加させて頂きました。

普段なかなか見られない議場の中や、議員さんのお話を聞けてとても楽しかったです！
大和 12歳

●夏休みこども議場見学会はよい取り組みだと思いました。参加した子ども達は郡上市に関心を持ち、将来議員になって諸問題を解決したいと考える子もいるのではないのでしょうか。できれば見学会の回数を増やして、より多くの子ども達が参加できるとよいと思いました。

美並 75歳

●こども議場見学会に孫が参加しました。議長席にも座らせてもらい、貴重な経験をさせていただきました。「議員さんは市民のためにいろんな議題を話し合ってくれている」と話してくれました。
八幡 79歳

●11月にせせらぎ街道の紅葉狩りに出かけたおり、貴市の議会だよりがあったので、貴市の政策で福井県の参考にとと思い手に取りました。

市外 81歳

●郡上も少子化が進み将来を見据えて考えていかないと大変なことになります。山川市長が先頭に立って頑張ってみえますので、私たち市民も一人一人が少子化に対して真剣に考え、協力したいです。

明宝 71歳

●博物館や美術館が建って欲しい。

八幡 10歳

●紙面が非常に見やすくなった。郡上市の現在、未来のことについて、過去の紙面より分かりやすくなった。

白鳥 75歳

●議会だよりいつもしつかり読んでいます。

議員さんたちがどのような事をされているのか？今後の郡上はどうなっていくのか？どうしたらいいのか、とても興味があるとともに、不安でもあります。

これから郡上が安心して楽しく過ごせる所となるようよろしくお願いします。本当に。
白鳥 83歳

令和7年度「議員としゃべろう」開催レポート（報告）

〴〵議員をもっと身近に、気軽に多くの人と話せるように、
そんな思いから、今年度はワールドカフェ形式で開催しました！

★10月8日 白鳥ふれあい創造館（参加者18人） ★10月16日 八幡防災センター（参加者17人）



皆様のご参加
ありがとうございます！
ございました！

分野ごとに色々な意見がありました！

福祉

- ・郡上だけの特徴を持った福祉施設が必要なのは。
- ・病院の今後の心配。なくなるのではないかな。
- ・学生のうちに介護の対応ができるような教育を。

行政

- ・市は最低限の施設を持って、あとは民間に譲渡してほしい。
- ・行政からよりタイムリーに情報がもらえるといい。
- ・職員がストレスを受けていないか。力を発揮しやすい職場にしてほしい。

教育

- ・これからの子育てに不安を感じる。
- ・給食費は払ってもいいので質を上げてほしい。
- ・教育環境が良いと移住が増えるので、そのような整備をしてほしい。

文化

- ・神楽、歌舞伎を伝承している地域に厚い支援をしてほしい。
- ・YouTubeなどでおどりをもっと紹介してほしい。
- ・おどりをきっかけに郡上に住む人も多いため、大切にしてほしい。

議会

- ・財政力を上げる工夫を議員も考えてほしい。
- ・議会のことが伝わりにくい。
- ・市長の議案を通していただけに見えるので、議会からもっと意見を出すべき。

参加者があまり多くなく、特に若い人が少なかったと思います。

今まで行われていた議員と語ろう会よりも思っていることを伝えることができました！

進行方法の説明があまりなかったので、参加された方が混乱されていたように感じます。

～アンケートで参加した皆様の 本音を聴いてみました～

些細な意見でもフランクに聞いてもらえる場所があるのはとてもいいので続けてください！

初心者が入りやすいもう一段階マイルドな交流会があると嬉しいです。

小グループでの討論で、郡上市の実情を知ることができました！

議員からのメッセージ

- ・春と秋の年2回開催などを検討していきたい。
- ・八幡と白鳥以外の方は参加しにくいと思われるので、各地域で1回は開催なども視野に入れたい。
- ・「議員としゃべろう」について少し説明不足だったので、議会だよりの特集ページなどで事前に内容を説明したい。
- ・参加者からいただいた意見を吸い上げて、各常任委員会での検討課題にしていく。



来年も、皆様のご参加をお待ちしています！

広報広聴特別委員会

～17名の議員が選んだことば～



政策提言

見直し事業の検証

定例会

一般質問

委員会活動報告

クイズの答え・声

議員としやべろう

事実をしっかりと分析し、解決策を導き出していきたいです。

実事求是



北山 浩樹 議員



大坪 隆成 議員

生生流転

父を見送り孫が誕生した一年。命をつなぐ一人としての役割と責任を改めて意識する年となりました。

どんな辛いときでも小さな希望を信じて一歩ずつ前へ
感謝と謙虚さを胸に“人に学び、人に感謝”を

明けない夜はない



有井 弥生 議員



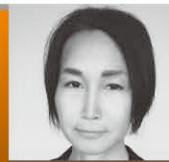
和田 樹典 議員

一期一会

前回もこの言葉を選びました。人と会い、話をする中でその時を大事にとの思いで選びました。

破天荒遊（はてんこうゆう）
「面白い方へ、正しい方へ」。
型にとらわれず、新しい風を巻き起こします！

破天荒遊



みずの まり 議員



蓼島 正人 議員

郷土愛護

生まれ育ったふるさとへの想いを原点に、人と人とのつながりを大切にし、住み続けたい郡上市を皆さんと共に育てていきたいと考えています。

農村RMOとは農林水産省が推進している住民参加型の組織です。
地域の団体を中心になってR8年度から取り組みをしようと考えています。

農村RMO



池田 源則 議員



池戸 郁夫 議員

進取果敢

課題に向かって周囲の目や失敗を恐れず行動に移す決断力が何もしない事よりも心がけている好きな言葉です。

未経験のことや新しい分野にも躊躇なく挑戦し、他人任せにしないで主体的に行動する。

進取果敢



山田 智志 議員

2026年 ここから始まる



本田 教治 議員

永遠に生きたつもりで
夢を抱け
今日死ぬつもりで生きろ

私は、「生き急ぐな」と言われます。
「ジェームス・ディーン」の言葉です。

独立不羈（とくりつふき）

他人からの束縛を受けず、自分の考えで
行動し、自分らしく生きたいと思っています。

独立不羈



長岡 文男 議員



田代 まさよ 議員

魔法の言葉は
ありがとう

どんな時も「ありがとう」は人の心を温
めます。
幸せを教えてくれた、私の大切な魔法の
言葉です。

議員としての私の信条「声を市政に、そ
して形に！」を誠実に力強く実行してい
くことを表す言葉です。

誠実力行



田中 義久 議員



森 藤文男 議員

雲外蒼天

雲（困難や試練）を乗り越えれば、その
外（向こう側）には、素晴らしい蒼天（明
るい未来や希望）が待っている。

毎日を感謝。
私は感謝の心を大切にしたい。
となく、思うようにならないと苛立ちますが、
それを恨むより前向きな気持ちで望みたい。

日々感謝



原 喜与美 議員



野田かつひこ 議員

色即是空

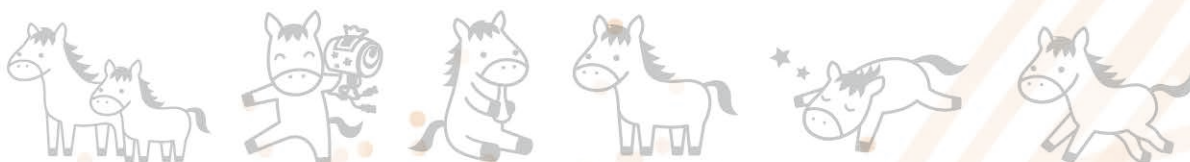
すべて世の事象は永遠に続くものはない。
人も自然もこの社会もすべからず運動の
渦中にある。己もまた。

今年の干支にちなみ「塞翁が馬」に。
中国の故事で、一見不幸でも幸運に転ず
る意。ピンチもチャンスにとの期待。

塞翁が馬



清水 敏夫 議員



クイズに答えろ

「郡上市共通商品券」をゲットしましょう!

正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市商品券をプレゼントします。

Q1 10月に議会から市長へ提出した
政策提言の「緊急提言」に関わる動物は?

- ① シカ ② クマ ③ イノシシ

Q2 美並地域の2つの小学校が統合されて、
新たに新設される小学校の名称は?

- ① 美並小学校 ② 郡南小学校 ③ みなみ小学校

Q3 12月定例会 PR 動画の撮影場所はどこでしょう?

- ① 議場 ② 郡上八幡旧庁舎記念館前
③ 長良川鉄道の駅

ヒントはこの議会だよりの中にありますので、よく読んで探してください!

応募方法

- 📌 クイズの答え
- 📌 郵便番号
- 📌 住所(番地まで)
- 📌 氏名
- 📌 年齢



上記の項目をご記入いただき、はがき、ファックス、
二次元コードのいずれかから応募ください。

あて先

〒501-4297
郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821

締切: 令和8年2月24日(火)

※当日消印有効

※当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は目的以外に使用しません。

ご応募に合わせて皆さんの声もぜひお寄せください。

お寄せいただいたご意見の一部について内容を要約し、無記名で次号に掲載させていただきます。



私はこの「議会だより」発行にかかわり、広報広聴特別委員として早い
もので6年が過ぎようとしています。

委員8名全員、この「議会だより」作成にとっても意欲的で発行に向けて
熱い議論を交わします。昨今世間で言われる「見える市議会」のご意見が
とても多く、広報の意味でひとりでも多くの市民の皆様手に取って頂
き、議員や、議会を知って頂きたい!と、他県他所の「議会だより」の
視察も行ってきました。近年「クイズ」や「皆さんからの声」が増えて
いますことに感謝しかありません。ありがとうございます。

広報の「市民から見える市議会」、広聴の「市民からの声が聞こえる市
議会」を胸に、今後も紙面を通して情報発信を行って参ります。よろしく
お願いいたします。

本田 教治

● 委員 長
野田かつひこ
○ 副委員長
本田 教治
○ 委員
田代まさよ
山田 智志
みずの まり
和田 樹典
有井 弥生
北山 浩樹

広報広聴
特別委員会



3月定例会の予定

月 日	曜 日	会 議 の 内 容
2月19日	木	議会運営委員会・全員協議会
2月20日	金	総務常任委員会協議会
2月24日	火	産業建設常任委員会協議会
2月25日	水	文教民生常任委員会協議会
2月26日	木	開会
3月2日	月	議会運営委員会・予算特別委員会・本会議
3月3日	火	
3月4日	水	予算特別委員会
3月5日	木	
3月6日	金	予算特別委員会・本会議
3月10日	火	総務常任委員会
3月11日	水	産業建設常任委員会
3月12日	木	文教民生常任委員会
3月16日	月	
3月17日	火	一般質問
3月18日	水	
3月23日	月	議会運営委員会
3月24日	火	閉会・全員協議会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間に変更になる場合があります。